

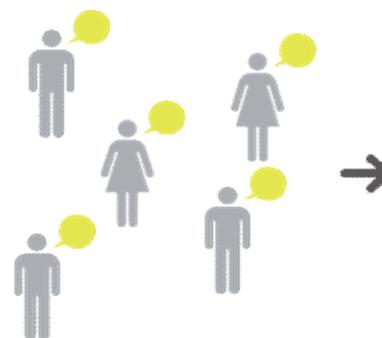
ウェブデータからの行為抽出エンジンの開発 —「pingpong: 動く地図」プロジェクト—

岡 瑞起



「動く地図」とは、人々が携帯端末で発信する言語情報を位置情報と共にウェブを介してリアルタイムに取得し、地図と組み合わせることで「いま・ここ」で行われている行為を可視化するシステム。

さまざまな実空間での人々の行為が可視化され、たとえば店舗や施設の情報と「動く地図」を通して結びつくことにより、空間のレイアウトの持つ潜在的なアフォーダンスがシステムティックに計算する。それを顕在化させることにより、新しいコミュニケーションやサービスが創出されることが期待される。



自由に歩き回り連絡しあう人々をセンサーとして捉え、行為、コミュニケーションを収集する。



地図上で可視化することにより、人々の行為やコミュニケーションでリアルタイムに動く地図 (pingpong map) が生成される。